

1 現状と課題の分析

①地域概況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊田市の北東に位置し、岐阜県恵那市と隣接する中山間地域であり、長野県、岐阜県を水源とする一級水系矢作川が地区内を貫き、上流には矢作ダムがある。 ・ 県内最古の笹戸温泉、春に開催されるしだれ桃まつり、夏に開催される夢かけ風鈴まつりなど地域を巻き込んだ観光資源があり、観光客が見込まれる。 ・ 近年は空き家バンクを活用した田舎暮らしを目指す移住希望者が増えている。 					
②最寄り駅	名鉄豊田市駅		③最寄り駅からの距離	約30km		
④商店街区域	小渡地区を中心とした旭地区全体					
⑤商店街区域内の店舗数	71店舗					
⑥うち組合加入店舗数	62店舗		⑦うち空き店舗数	6店舗		
⑧商店街の加入店舗構成	生鮮三品(10店16%)、衣料品(2店3%)、その他小売り(12店19%)					
	飲食店(11店17%)、サービス(22店34%)、その他(7店11%)					
⑨商店街の特徴、強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内広範囲に商店が点在しており、各地区にそれぞれ最低限の業種店舗が存在しており移動制約者に対して消費サービスを提供できる点 					
⑩来街者 (主なもの一つに○)	<input type="radio"/>	高齢者		主婦		ファミリー
		若者		観光客		その他()
⑪来街者交通手段 (主なもの一つに○)		徒歩		自転車		バス
	<input type="radio"/>	自家用車		鉄道		その他()
⑫来街者の来街所要時間 (主なもの一つに○)		15分未満	<input type="radio"/>	15分以上30分未満		30分以上1時間未満
		1時間以上				
⑬商店街等が抱える課題・問題点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旭地区の人口減少(平成27年度から7%減少)、高齢化(高齢化率41.4%)に比例して、店主の高齢化や後継者不足が進み、組合員数、会員(顧客)数の双方が減少することが懸念される。 ・ 空き店舗が増えることにより、商店街に魅力が無くなり、客離れが進むことが懸念される。 					
⑭地域住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車に頼らないと買物ができない状況であり、今後への不安を感じる。 ・ 交通手段が不便である。 ・ 移動販売や宅配に関心がある人が多い。 ・ Iターン移住者は年齢が若く、事業意欲が高い者が増えている。 					

2 商店街の目指す将来像及び目標

①商店街の目指す将来像	住民サービスを低下させない持続可能な商店街の基盤づくりを目指す
②基本目標 (4年後の達成目標数値)	【空き店舗解消数】6件

3 4カ年の事業計画 ※事業ごとに作成すること

①事業名	空き店舗対策の推進
②事業実施予定時期	平成31年4月～平成35年3月
③事業具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助事業（創業準備に対する家賃補助） ・空き店舗情報提供事業（ホームページによる空き店舗情報） ※旭地区内の空き家情報バンクに掲載されている店舗兼住居の物件を中心に、商工会在管理するホームページ内で情報提供を行う。入居予定者に対し空き店舗補助事業の活用を促す。
④事業の必要性・事業目的	空き家バンク事業の中で市外からの移住者が増えている。その移住者の中で区内で自営業を行いたい意思の者もあり、受け皿として空き店舗を活用した商業活性化を行う。
⑤ターゲット・コンセプト	創業予定者
⑥事業費・事業採算性の説明	【事業費】 <ul style="list-style-type: none"> ・店舗賃借料 7,200,000円（店舗を賃借する創業予定者が支払い） ・本事業のチラシ制作及び送付 140,000円（商工会負担）
⑦新規取組内容、改善点（先導性、先進性、モデル性等）	IT技術と助成制度を活用し空き店舗の情報提供と創業者の育成に努める
⑧事業効果	不足業種の解消により住民サービスの向上と賑わいを創出できる
⑨目標 評価指標 測定手法	評価指標〈測定手法〉 (1)旭地区内の空き店舗補助事業活用増加
⑩推進体制	旭商工会
⑪関連計画や事業（地域の動き等）	空き家情報バンク

4 計画期間の事業スケジュール

	31年度【1年目】	32年度【2年目】	33年度【3年目】	34年度【4年目】
事業	4月～運行準備 10月～本格運行 12月～運行結果分析 2月～次年度計画の作成	4月～本格運行 12月～運行結果分析 2月～次年度計画の作成	4月～本格運行 12月～運行結果分析 2月～次年度計画の作成	4月～本格運行 12月～運行結果分析 2月～次年度計画の作成
予算（千円）	35千円	35千円	35千円	35千円
関連計画や事業	創業予定者が創業出店促進事業補助金を受給(1件600千円、4年累計7,200千円)			
	空き家情報バンク	空き家情報バンク	空き家情報バンク	空き家情報バンク
目標達成状況	空き店舗解消 1店舗	空き店舗解消 1店舗	空き店舗解消 2店舗	空き店舗解消 2店舗

5 創業出店促進事業における不足等業種

① 当商店街（商工会）が掲げる不足等業種

- ・ **飲食店**

- ・ **ホテル及び民宿**

- ・ **生鮮食品小売業**

② 上記業種を不足等業種として掲げた理由（簡潔に）

（飲食店）

当地区には、風鈴まつりやロードバイクなど、地区外からの観光客が来ていただけるが、その場で食事する店が少ないため。

（ホテル及び民宿）

菅戸地区は温泉街としてはホテルや民宿の数が少なく、温泉街としての魅力に欠けてしまうため。

（生鮮食品小売業）

当地区の山間部には生鮮食品を購入できる店が少なく、災害時に食料を提供できる拠点が必要であるため。

③ その他参考情報等

（空き店舗情報（平成31年3月1日時点））

- ・ 豊田市小渡町寺ノ下3 2階建て木造家屋
- ・ 豊田市小渡町南貝津14 2階建て鉄筋コンクリート造
- ・ 豊田市豊田市小渡町七升蒔14 1階建て木造家屋
- ・ 豊田市豊田市小渡町寺ノ下3 2階建て木造家屋
- ・ 豊田市豊田市小渡町南貝津25 2階建て木造家屋
- ・ 豊田市豊田市菅戸町惣作11 3階建て鉄筋コンクリート造